



○わが町の高校

笠松駅で乗降する高校生の多くは、岐阜工業高等学校の生徒達です。

この学校は、一九二六（大正十五）年四月、岐阜県第一工業学校として設立

されました。戦後の教育改革により一九四八（昭和二三）年四月より岐阜県立岐阜工業高等学校と改正されました。笠松町にある学校として広く「笠工」の愛称で親しまれてきました。町内にはこの学び舎で学ばれた方も多く、この地域の繊維や機械産業を支えてきました。岐阜工業高等学校は**笠松町にとつて大きな存在**です。

○地域とのかかわり

生徒は、学習活動や部活動に力一杯取り組む一方で、学校のある**地域との**

岐工生 ポケットパークの花壇づくりに一役！



かかわりを大切にしています。駅周辺であいさつ運動や清掃活動に取り組み、部活動の折に、学校敷地とグラウンドの間を通る県道一七八号線沿いのポイ捨て吸い殻や草引きなどに取り組んだりして、笠松をきれいな町にしようとしています。

○ポケットパークを

美笠通り一丁目の美笠橋と岐阜工業高校グラウンドの間にあるポケットパークに時計塔のある花壇があります。夏用花壇の苗を移植するため、草引きや春花壇の後始末をしなくてはなりません。これまでは、近所の方ボランティアで花の水やりや草引きなどの世話をしていただきましたが、体調を崩され、世話ができないということになっていました。

高等学校に声をかけると、快く引き受けていただき、六月二十四日午後、ラグビー部員の皆さんが、大切な練習時間を割いて花壇のパンジーを撤去したり草を引いたりしてくれました。公共のために黙々と働く高校生の姿をまのあたりにし、心の育みを強く感じました。この皆さんが、夏の大会でベストを尽くし活躍されんことを心から願う気持ちが湧きあがってきました。



ポケットパークの花壇清掃をする岐阜工業高校ラグビー部員